

2025年度 春季人権啓発行事

下記の要領で、人権問題に関する講演会を開催します。

一般の方も参加費・申し込み不要で当日参加可能となっておりますので、奮ってご参加ください。

※満席の場合はお席をご用意できない可能性がございます。あらかじめご了承ください。

5月16日(金) 第3時限 (13:00～14:30)	講演テーマ : 音と光で描く、自分らしさと尊重のかたち 概要 : 音楽が響くとき、写真が切り取るとき、そこには「自分らしさ」と「他者へのまなざし」が共存している。レゲエミュージシャン、そして写真愛好家として活動する SHOCK EYE さんが、自らの経験を通じて表現の自由、文化的多様性、人権尊重の意義について語りかける。すべての人が輝ける社会に向けたヒントを探る講演だ。 講師 : SHOCK EYE 氏 (株式会社テレビ朝日ミュージック 湘南乃風レゲエミュージシャン) 場所 : 千里山キャンパス 第3学舎ソシオ AV 大ホール (D101) 教室
5月19日(月) 第2時限 (10:40～12:10)	講演テーマ : 社会課題×メディア～生きづらさを抱える子どもたちとの映像制作現場から～ 概要 : 児童養護施設・学習支援団体・特別支援学級・子ども食堂・児童精神科…さまざまなデリケートな現場での取材撮影経験を通して見えてきた、社会課題に対してメディアが果たす役割と可能性についてお話しいただく。 講師 : 西澤 道子 氏 (映像ディレクター・社会福祉士・精神保健福祉士) 場所 : 千里山キャンパス 第3学舎ソシオ AV 大ホール (D101) 教室
5月20日(火) 第4時限 (14:40～16:10)	講演テーマ : NPO 起業家の挑戦～子どものセーフティネットを作る～ 概要 : 認定 NPO 法人 DxP は、16000 人ほどの 13 歳～25 歳が登録する LINE 相談「ユキサキチャット」、また大阪道頓堀にある通称「グリ下」での「ユースセンター」運営等を通して、経済困窮、家庭事情などで孤立しやすい 10 代が頼れる先を作っている。企業や国ができない事業を人々と共に生み出している、日本でも屈指の若者支援のパイオニアといえる。DxP は寄付型の NPO として 13 期目にあり、2.7 億円の予算規模のうち 8 割を寄付で運営している。NPO 起業家として DxP の代表を務める今井氏に、子ども若者のセーフティネットを作る DxP の実践とその挑戦のプロセスを語っていただく。 講師 : 今井 紀明 氏 (認定 NPO 法人 D×P 理事長) 場所 : 千里山キャンパス 第3学舎 A301 教室
5月23日(金) 第2時限 (10:40～12:10)	講演テーマ : 終戦80年 われら元日本兵に遭遇す！ ～映画「蟻の兵隊」が描く戦争のリアル～ 概要 : 第2次世界大戦後も中国に残留させられ中国の内戦を戦った日本軍部隊があった。残留将兵 2600 人。戦後の戦死者 550 人。ポツダム宣言に背くこの暴挙を戦後日本政府は兵士たちが勝手に志願して戦争を続けたものとみなし黙殺する。我々はなぜ残留させられ、理不尽な戦争を続けさせられたのか？映画「蟻の兵隊」は元残留兵のひとり奥村和一（わいち）の真相究明にかける執念を描き、2006 年夏に公開されるや録的なロングヒットを達成した。最大の特徴は戦争を被害と加害の両面から描いたこと。かつての戦場を訪ねる旅で、奥村は初年兵教育の名の下に命じられた殺人訓練の現場をも再訪する。そこで奥村に生じた異変とは…講演では監督の池谷薫が印象的なシーンの映像クリップを見せながら、この映画がどのように作られているか徹底解説する。戦争は最大の人権侵害。終戦 80 年の今年、その戦争とは何か、戦争がいかに人間の理性を剥奪するのか、ひとりでも多くの人と一緒に考えたい。奥村和一は 2011 年に 86 歳で亡くなった。だがスクリーンのなかに生きている。なお「蟻の兵隊」本編はオンデマンドで講演の前後 2 週間程度、観られるようにする。 講師 : 池谷 薫 氏 (甲南女子大学 映画監督・甲南女子大学教授) 場所 : 千里山キャンパス 第3学舎 D302 教室

5月26日(月) 第5時限 (16:20～17:50)	講演テーマ : フェイクニュースと人権——ポスト真実の時代を生き抜く術—— 概要 : 誰もが発信できるソーシャルメディアが普及し、ヘイトスピーチによる人権侵害が問題となり、選挙では偽情報により民主主義の根幹が揺らいでいる。メディアリテラシーやファクトチェックといった対策は、プラットフォーム企業の方針転換とトランプ政権が誕生したことにより有効性が乏しい。既存メディアの影響力も低下している中で、どのような対策があり得るのか。ソーシャルメディア時代のニュースのあり方を中心に、私たちに何ができるのかを考える。 講師 : 藤代 裕之 氏 (法政大学社会学部教授) 場所 : 高槻キャンパス TE ホール
6月2日(月) 第2時限 (10:40～12:10)	講演テーマ : 「(パラ) ブレイキン」にみる多様な世界 概要 : 振付を揃えて踊る他のダンスと違い、個人で自由に踊ることの多い「ブレイキン」が持つ「個性を大事にした多様な特性」を活かしながら障がい者にダンス指導を続けてきた経験から、人が人らしく本来持っているはずの権利を改めて考える。ブレイキンの世界では、カルチャーとして、アートとして、スポーツとしてそれぞれの「正解」を目的に踊る者同士が互いに否定せずに認め合っている。人と違うことを尊重しあうことでみえてくる他者理解、障がい者理解を人権問題に置き換えて講演いただく。 講師 : 高橋 俊二 氏 (日本アダブテッドブレイキン協会 代表理事) 場所 : 堺キャンパス SA501 教室

※実施場所は履修状況等の影響により、変更する可能性があります。最新の情報はイベントカレンダーにて更新いたしますので、お越しになる際は必ず事前にご確認いただけますようお願いいたします。https://www.kansai-u.ac.jp/ja/about/pr/events_calendar/2025/

2025年4月
関西大学

手話通訳、パソコン文字通訳を準備いたしますので、必要な場合は、開催日の1週間前を目処に学長課 (MAIL : gakuchohisho@ml.kandai.jp) へご連絡ください。